

LIXIL エコリス ウォールメッシュパネル 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的にした防護柵や、歩行補助を目的にした手すりとして使用しないでください。特に崖や高台など転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- Gフレームに取付ける場合は、施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

<施工上のご注意>

注意

- ウォールメッシュパネルにプランター等を吊下げる場合は、1個あたり5kg以下とし、W10-H10サイズ1枚あたり3個以下、W10-H16サイズ1枚あたり5個以下としてください。
- ウォールメッシュパネルのポットホルダーにプランターなどを乗せる場合は、ポットホルダー1つにつき5kg以下、W10-H10サイズで総重量10kg以下、W10-H16サイズは総重量15kg以下としてください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

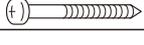
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 住宅壁等に取付ける場合は、必ず構造体（間柱等）がある位置にネジを固定してください。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■ 梱包明細表

【1】ウォールメッシュパネル本体

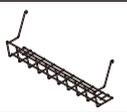
名 称	略 図	員 数	
		W10-H10	W10-H16
ウォールメッシュパネル本体		1	1
取付説明書〈C415〉	—	1	1
取扱説明書〈UC028〉	—	1	1

【2】取付金具

名 称	略 図	員 数	
		3個入	4個入
取付金具		3	4
【2-1】φ4×12トラス3種		3	4
【2-2】フィッシャープラグ S6		3	4
【2-3】φ4.1×32木ネジ		3	4

【3】ポットホルダー

オプション

名 称	略 図	員 数
ポットホルダー		1

【4】小口キャップ

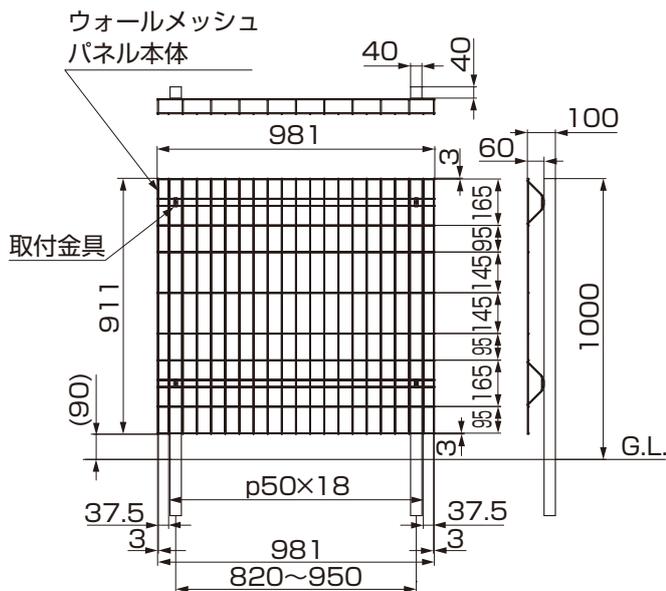
オプション

名 称	略 図	員 数	
		18個入	25個入
小口キャップ		18	25

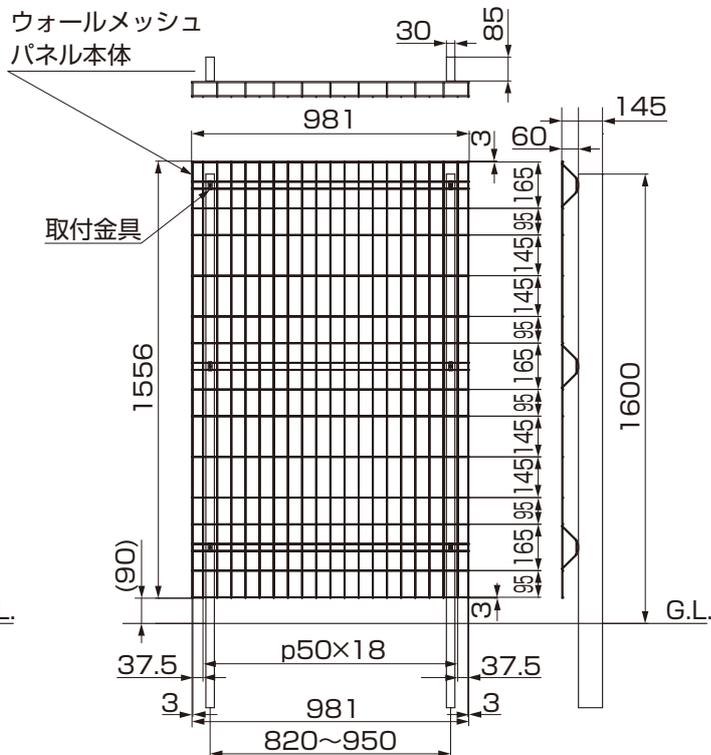
1. 基本寸法と各部の名称

1-1 柱付け施工(単体施工のみ)

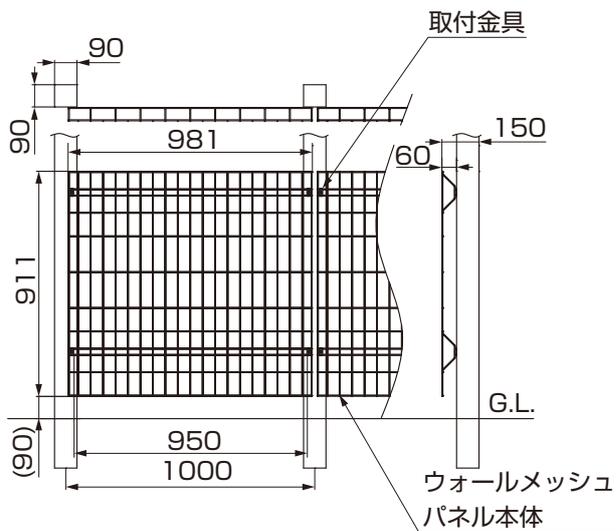
(1) W10-H10 40角柱使用



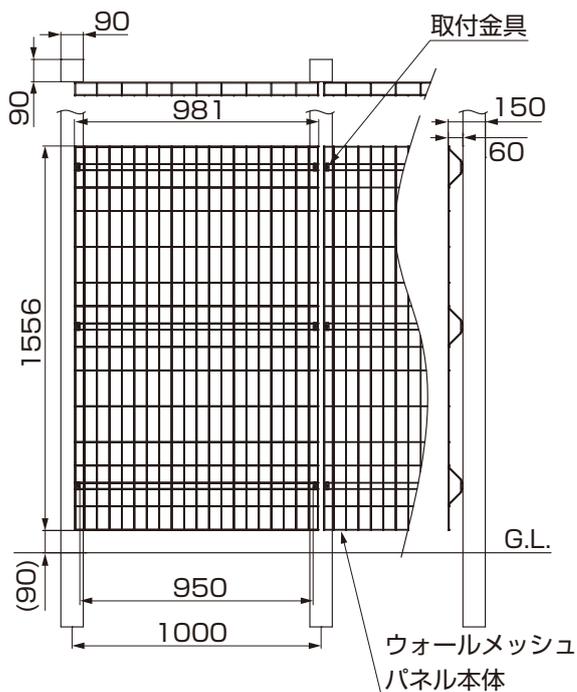
(2) W10-H16 30×85柱使用



(3) W10-H16 Gフレーム柱 (90角柱) 使用



(4) W10-H16 Gフレーム柱 (90角柱) 使用

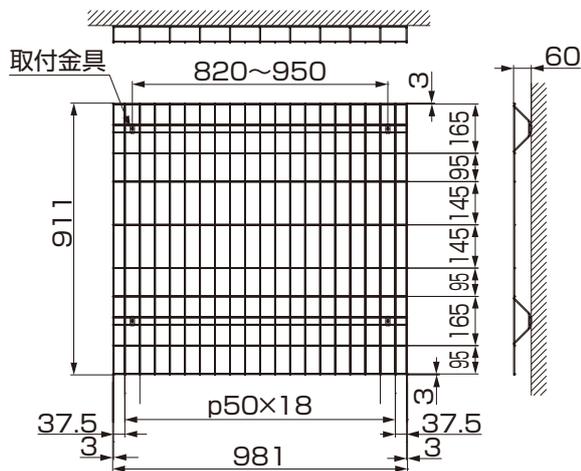


- 図はG.L.～パネル下部寸法が90mmの場合です。パネルの取付け高さは現場で調整してください。
- ウォールメッシュパネル本体の取付け高さはG.L.～2500mmまでとしてください。
- メッシュの線径は外径4.6mm、芯径3.6mmです。

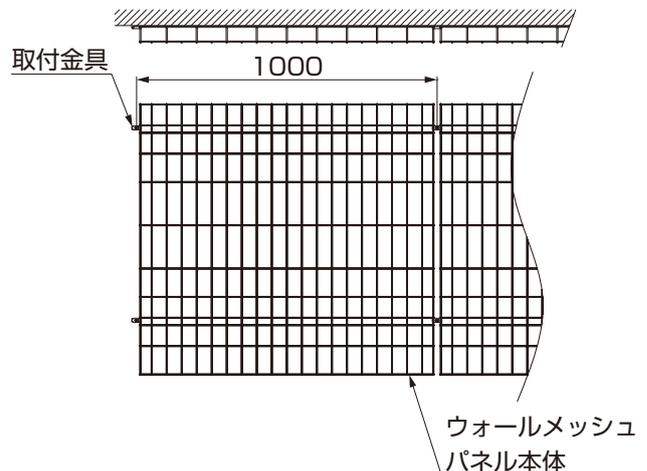
1. (つづき)

1-2 壁付け施工

(1) W10-H10 壁付け単独施工

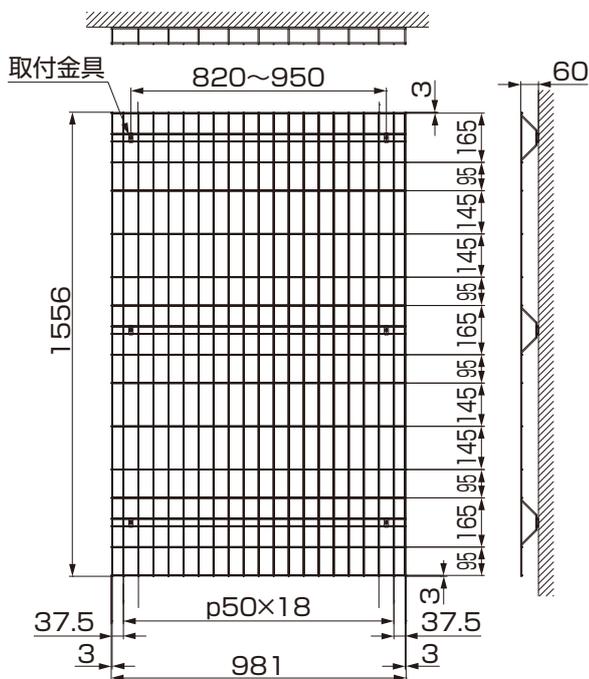


(2) W10-H10 壁付け連続施工 (メーターモジュール施工)

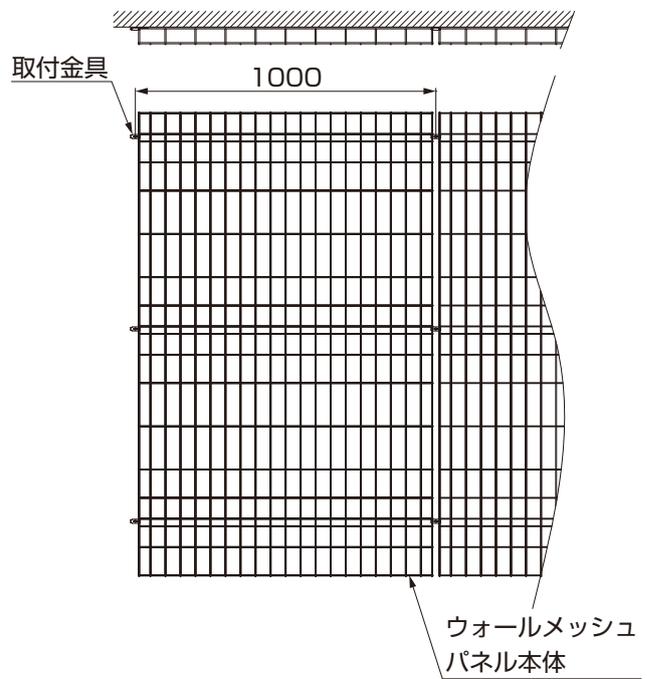


※中間一カ所あたり取付金具1個使用

(3) W10-H16 壁付け単独施工



(4) W10-H16 壁付け連続施工 (メーターモジュール施工)



※中間一カ所あたり取付金具1個使用

- ウォールメッシュパネル本体の取付け高さはG.L.~2500mmまでとしてください。
- メッシュの線径は外径4.6mm、芯径3.6mmです。
- 強度上の理由により、取付金具を中間に使用した連続施工は壁付け時のみ可としています。

2. 柱の確認と基礎の施工

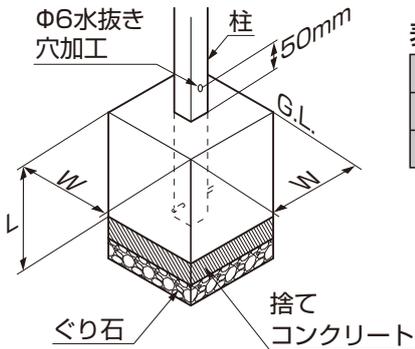


表2-1

	H10	H16	H24
L寸法	200	400	500
W寸法	200	400	400

- ①図のように基礎の施工をしてください。
- ②図のように水抜き穴をあけてください。

ポイント

- 表2-1はメッシュパネルのみを標準施工をする場合の基礎寸法です。
- Gスクリーン等と併設する場合は+Gの基礎寸法指示に従ってください。

3. 柱と本体の取付け ※柱付け施工の場合

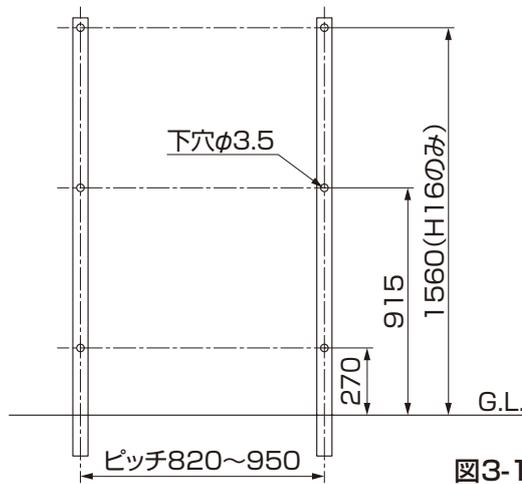


図3-1

- ①図3-1を参照して、各柱に下穴をあけてください。

ポイント

- 図3-1はGL~パネル下部が90mmの場合の寸法です。必ず現場の施工高さを確認してください。

補足

- W方向の金具取付けピッチは820mm~950mmまで移動できます。

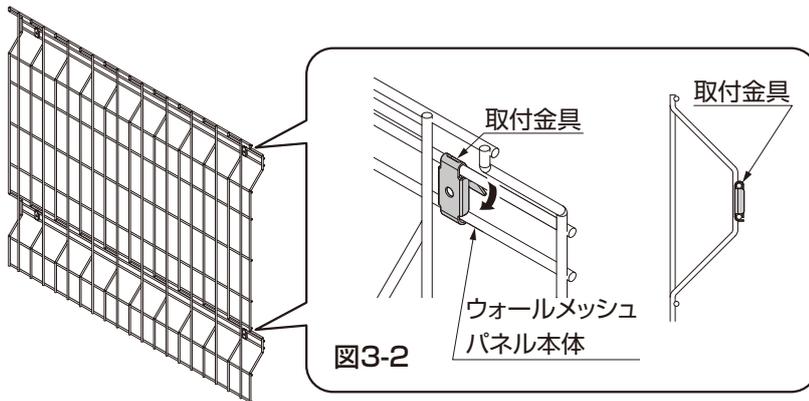
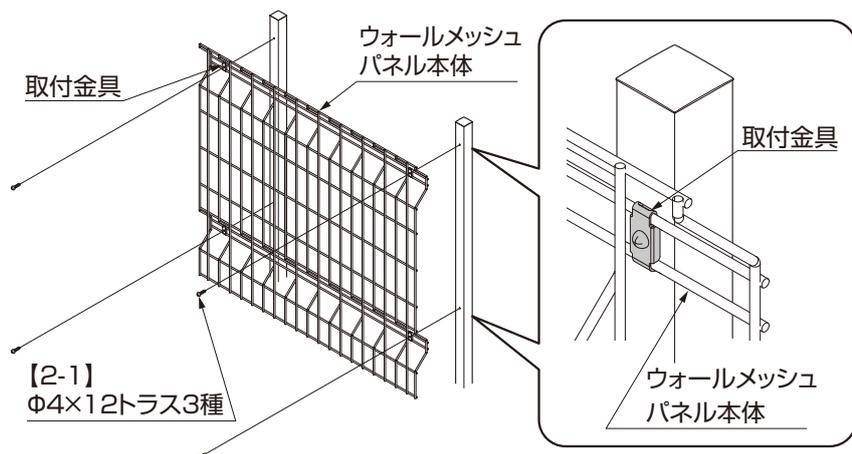


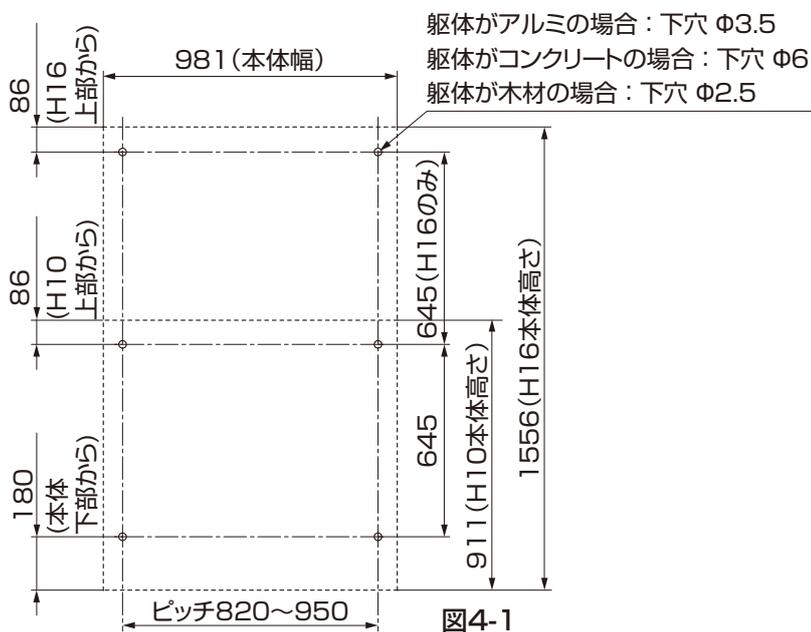
図3-2

- ②W方向のピッチを確認して、本体に取付金具を取付けてください。(図3-2参照)



- ③取付金具を【2-1】で柱に取付けてください。

4. 壁面と本体の取付け ※壁付け単独施工の場合



①図4-1を参照して、壁面に下穴をあけてください。

ポイント

- 取付ける躯体(壁面)の材質によって使用するネジが変わるため、下穴径が変わります。

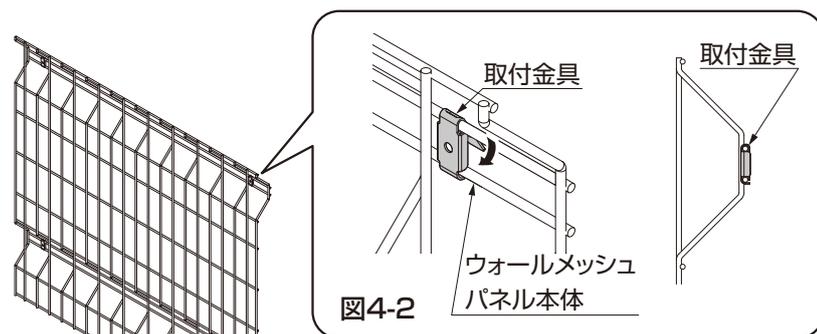
注意

- 躯体がアルミ、コンクリート、木材以外の場合は材質に適したネジ等を現場にて手配し、それに合った下穴をあけてください。

補足

- W方向の金具取付けピッチは820mm~950mmまで移動できます。

②W方向のピッチを確認して、本体に取付金具を取付けてください。(図4-2参照)



③取付金具を【2-1】(または【2-2】、【2-3】)で壁面に取付けてください。

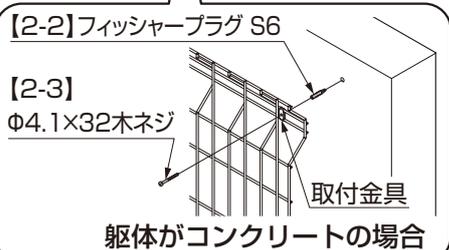
ポイント

- 取付ける躯体(壁面)の材質によって使用するネジが変わります。
 アルミ：【2-1】
 コンクリート：【2-2】+【2-3】
 木材：【2-3】

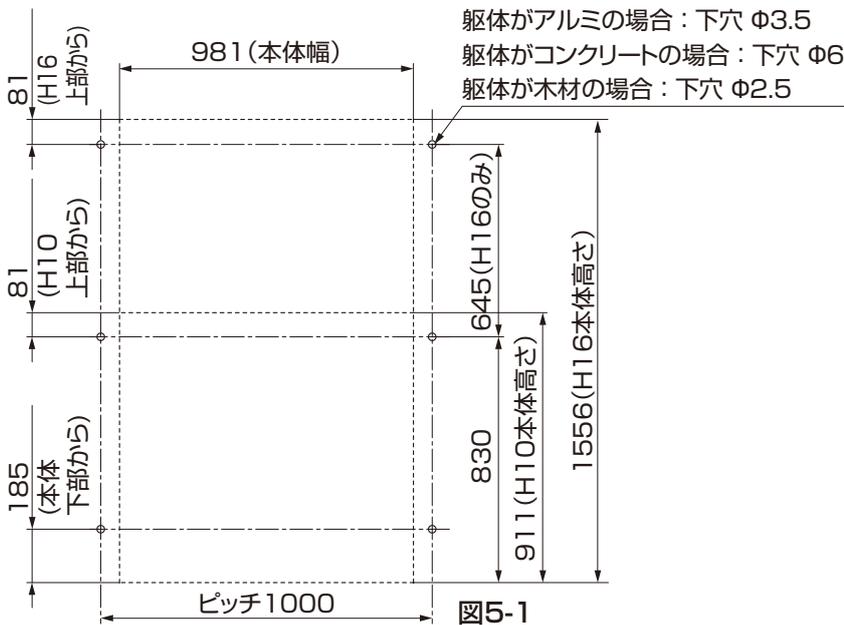
注意

- 躯体がアルミ、コンクリート、木材以外の場合は材質に適したネジ等を現場にて手配し、確実に固定してください。

躯体がアルミの場合：
 【2-1】 Φ 4×12トラス3種
 躯体が木材の場合：
 【2-3】 Φ 4.1×32木ネジ



5. 壁面と本体の取付け ※壁付け連続施工の場合



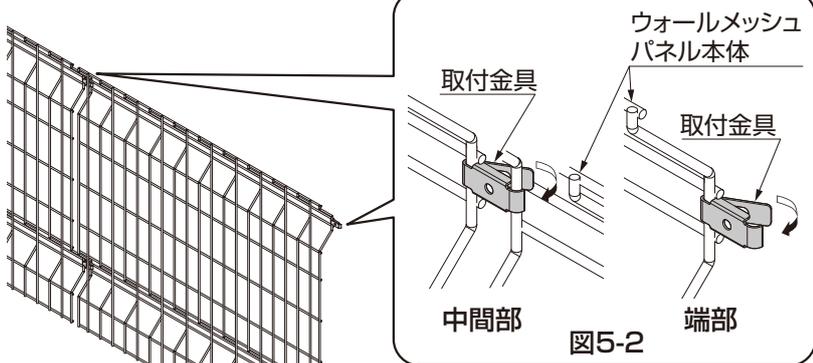
①図5-1を参照して、壁面に下穴をあけてください。

⚠ 注意

- 躯体がアルミ、コンクリート、木材以外の場合は材質に適したネジ等を現場にて手配し、それに合った下穴をあけてください。

✎ 補足

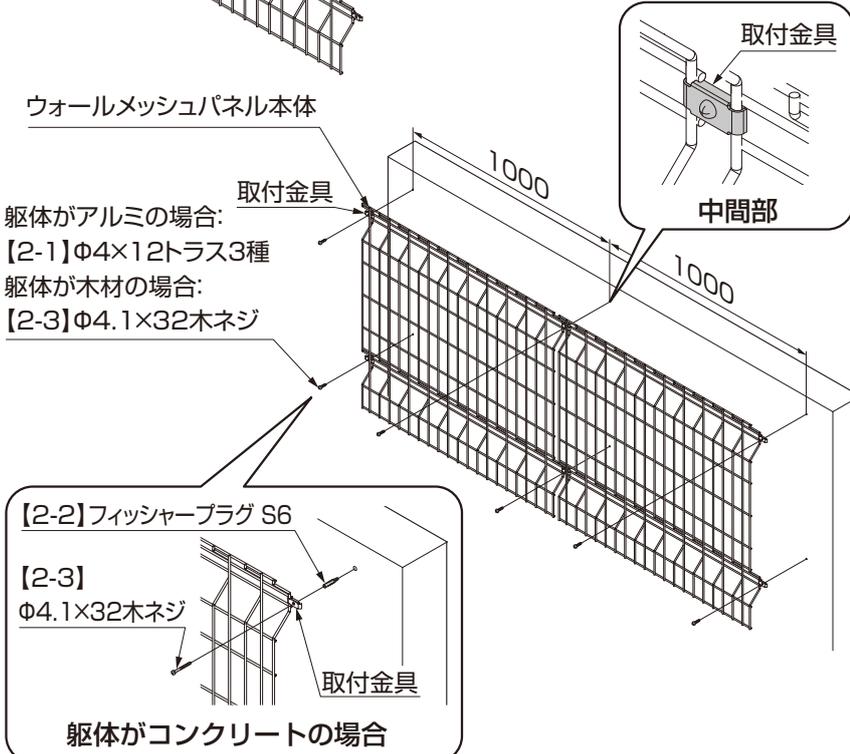
- W方向の金具取付けピッチは1000mmになります。
- 念のため現物で穴位置を確認することをおすすめします。



②図5-2を参照して、本体端部から取付金具を取付けてください。

🔑 ポイント

- 連続するパネルの中間部は、ひとつの金具で両側のパネルを固定します。



③端部から取付金具を【2-1】(または【2-2】、【2-3】)で壁面に取付けてください。

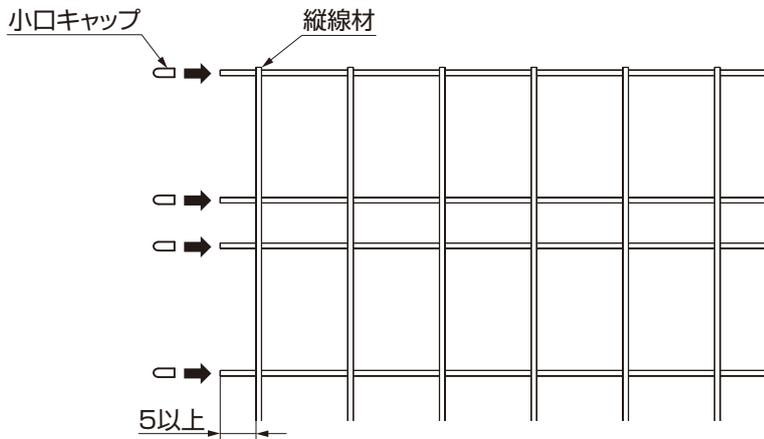
🔑 ポイント

- 取付ける躯体(壁面)の材質によって使用するネジが変わります。
 アルミ：【2-1】
 コンクリート：【2-2】+【2-3】
 木材：【2-3】
- 連続施工は2人以上で施工作業を行ってください。

⚠ 注意

- 躯体がアルミ、コンクリート、木材以外の場合は材質に適したネジ等を現場にて手配し、確実に固定してください。

6. 本体の切詰め



- ①フェンスを途中で切断する場合は、縦線材より5mm以上残して切断し、小口キャップを取付けてください。

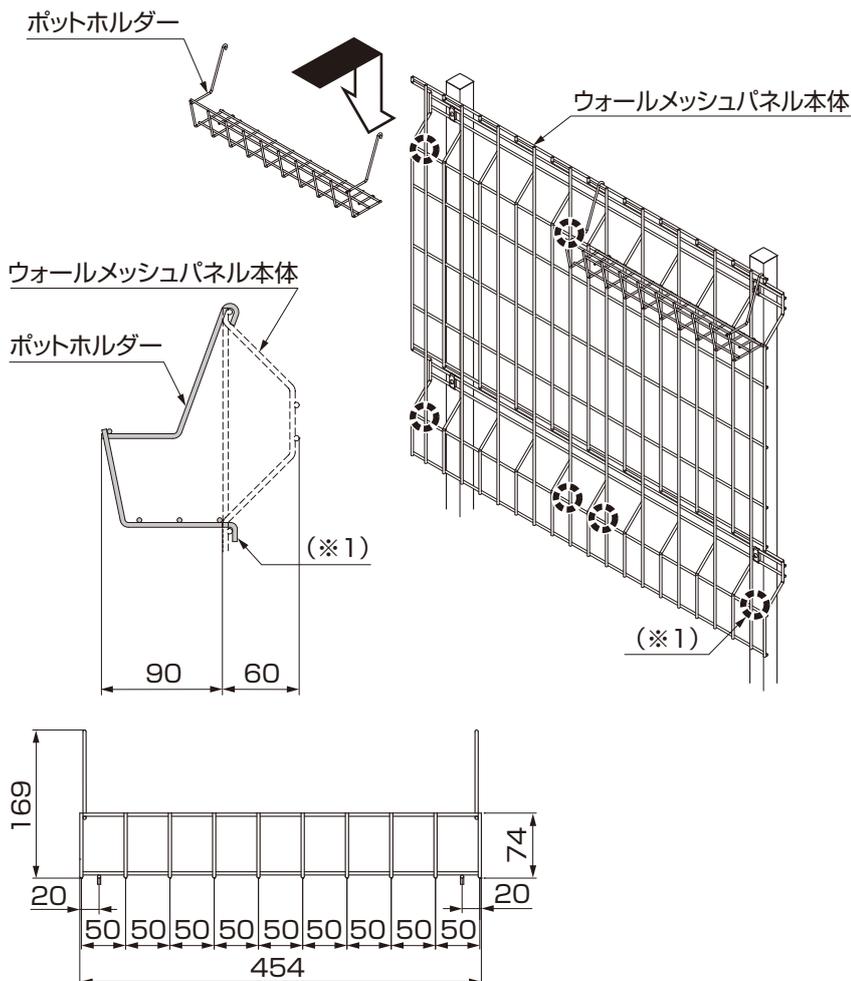
⚠ 注意

- フェンスを切断した時には、必ず小口キャップを取付けてください。ケガをするおそれがあります。

✎ 補足

- 本体H方向の切詰めはできません。

7. ポットホルダーの取付け **オプション**



- ①図のようにポットホルダーをウォールメッシュパネルに確実にひっかけて固定してください。

🔑 ポイント

- ポットホルダーの下部のフックをかける位置を確認してください。(※1)位置が誤っているとポットホルダーが動いてしまいます。

⚠ 注意

- ポットホルダーは確実に横線材に引っ掛けて固定してください。鉢等が落下し、ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

- ポットホルダーを取付ける高さは、G.L.～1600mmまでの範囲としてください。万が一鉢等が落下した際に、大ケガをするおそれがあります。

取説コード

C415

JZZ622118C
201102A_1041
201607D_1048